

# 事故対応フローチャート

## 事故発生



これら三つは並行して行う事が望ましい

| ケガ・状況の確認   | 警察・救急に通報  | 二次被害の防止   |
|--|---|---|
| 意識はあるか<br>出血はあるか<br>話はできるか<br><br>可能な範囲での処置を行う<br>・直接圧迫止血<br>ガーゼやタオル、ハンカチなどを当て、手のひらで傷口を直接圧迫する。 | 警察 110番<br>救急 119番<br><br>・怪我人がいる場合は「救急」である事を伝える。<br>・場所を尋ねられるので、現在地、目印になるものを答える。<br>・事故状況の簡潔な説明<br>・通報者の氏名をフルネームで伝える | 安全に対応できる場所に移動する<br><br>・道路外の広場、空き地など車の通行がない場所<br>・交差点、カーブ、坂道でない<br>・救急車との連携が可能である<br>・適度な明るさがある場所 |



## 警察、救急隊、病院関係者等の指示に従う



## 相手がいる場合は、相手の身元を確認する

氏名、住所、連絡先、保険加入の有無等を確認する  
事故を起こした直後はお互い動揺している。くれぐれも失礼のない様にする事。  
こちらの連絡先も相手に伝える



## 関係者への連絡

救急への対応が一通り終わり、状況が落ち着いた事を確認でき次第、可能な限り早い段階で連絡をする

家族

サイクリング部 安全係、主将

レンタカー会社 その後の対応、事故の補償など指示を受ける

学務課 課外活動中に事故や怪我などのトラブルがあった場合に連絡する。

平日 052 - 789 - 2164

土・日・祝日 052 - 896 - 6827



## 保険会社との交渉

相手が保険会社に加入している場合、損害の補償についての話は基本的に保険会社との間で行う事になる

保険会社が要求する書類への記入

大学生協の学生共済の利用

・病院の治療費、自転車修理費の領収書等は保険利用に際して、必要とされる場合があるので必ず保管しておく事